

ウッディチキン災害ボランティア

報告書 2

平成23年7月19日

NPO 法人ウッディチキン

地震対策委員会 北田礼次

このたびの東日本大震災におきまして被災されました皆さまの一日の早い復旧・復興を願い、今回も前回に引き続き、石巻市ボランティアセンターに行かせていただきました。

【参加人数】 37名

前回同様、東京駅丸の内口に22:30に集合していただき、一路石巻市に今回も順調に行けそうなので、ボランティアセンターの受付時間まで時間があるので、女川町までバスで行かせていただきました。テレビで状況はよく見ていましたが、実際に目のあたりにしてみると何とも言えない状態でした。



津波のすごさ、水の力の恐ろしさを再確認させられました。

「石巻市災害ボランティアセンター」に登録をし、がれき撤去の地域に移動。今回は北上川の近くの20軒ほどの集落の側溝の清掃を担当させていただくことになりました。移動も乗ってきた大型バスで移動でき、有難い限りです。

天候も味方見てくれました。かなりの猛暑を想定し、皆さんには熱中症対策を十分にしてくてくださいと連絡させていただいていたぐらいです。暑くもならず、雨も降らず（昼食中には雨）最適の環境の中作業は順調に進みました。





今回、恵まれたのは天候だけではなく、前回悩まされた「臭い」がほとんどない状況での作業をさせていただきました。何とも言えない異臭の中での作業とマスクをしなくても作業ができる環境には感謝です。

皆さんが一心不乱に作業されている姿は素敵に輝いていました。その姿を現地のボランティアリーダーの方も、団体でボランティアに参加されるのは、大体土木関係者の方々に、美容師さん達がこんなに泥まみれになりながらの作業をされている姿は「カッコイイ」とまで言っていただけました。有難いです。



皆さんの必死の作業のお陰で、泥まみれ・砂と石まみれだった側溝が綺麗になり、最後には水が流れ、川まで行ったときはみんなの歓声が上がりました。

ボランティアリーダーの方々も「うれしいうれしい」を連呼されていました。
みんなの力がお役にたて最高です。



みんなで作られたTシャツ！





この家の方が、震災当日どのような状況だったのかも話していただき、聞いているみんなが涙しているシーンもありました。

めいいっぱい作業をさせていただき、心も洗われる想いです。

僕たちは、ボランティアをしに来たのではなく、させていただき、多くのことに気づかせていただいています。

参加していただいた一人一人が、いろんなことを感じ思ったはずですが、この想いを地元に戻り、お店に戻り一人でも多くの方に伝えていただきたいと思います。

家の方もすごく喜んでいただきました。最後にはみんなで撤去した土のお袋の前で記念撮影。



もっともっと自分の周りの人を
笑顔に出来るよう全力でいきます

すべては
みんなの
笑顔のために